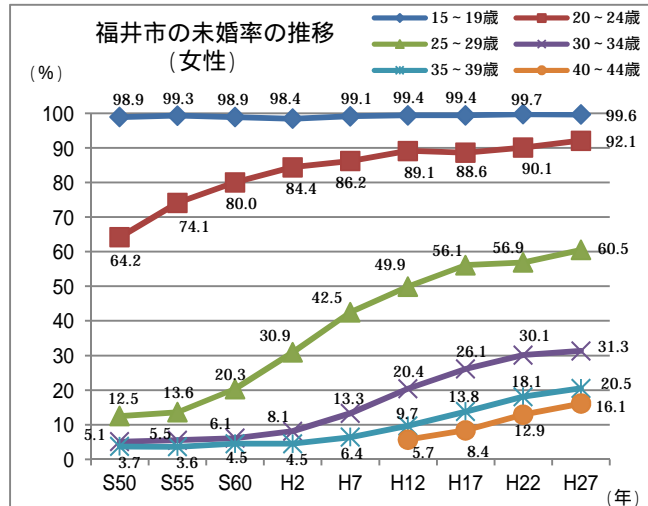
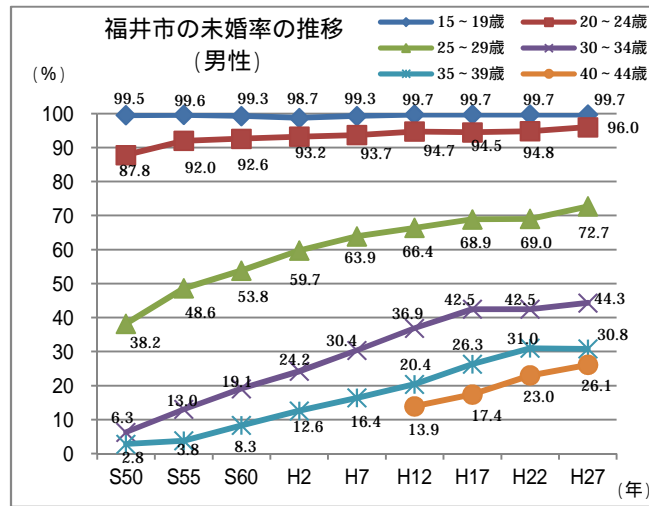


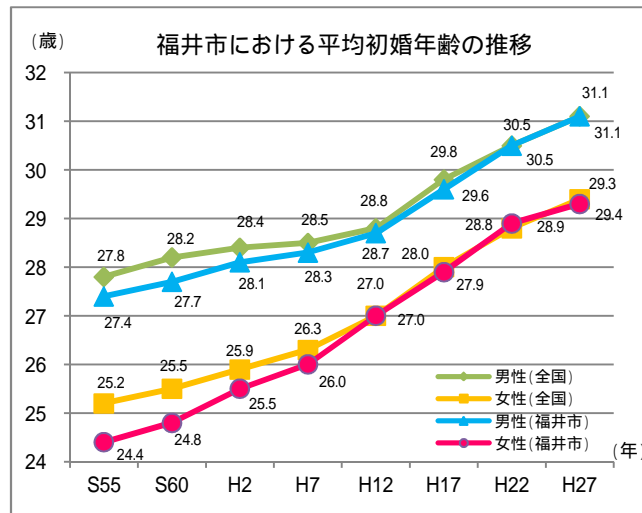
(1) 福井市の子どもや子育て家庭を取り巻く状況と課題

1 未婚化・晩婚化の進行と妊娠・出産のリスクや負担の増加

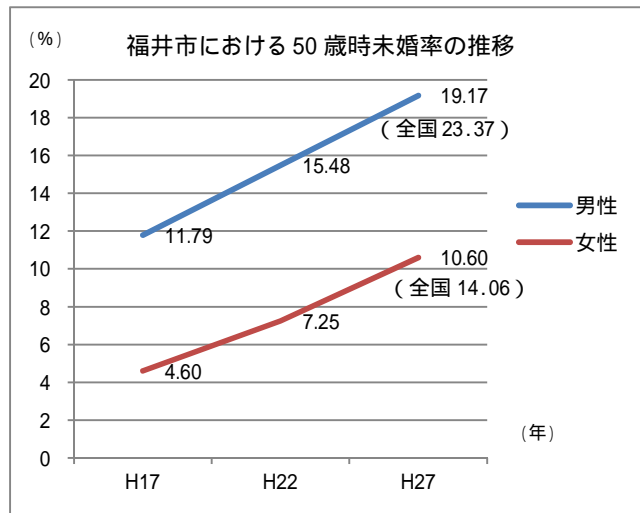
未婚率（国勢調査）



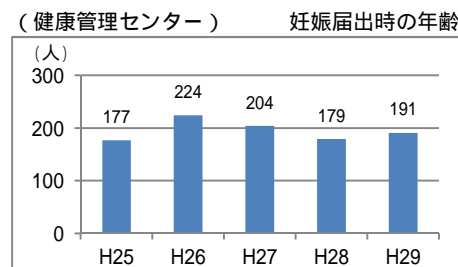
平均初婚年齢（福井県人口動態調査）



50歳時未婚率（国勢調査）



高齢初産婦(35歳以上)の年次推移



高齢出産のリスク（H25厚生労働白書 P106 より抜粋）

**年齢と出産リスク等**  
 医学的には男性、女性ともに妊娠・出産には適した年齢があることが指摘されており、30歳代半ば頃から、年齢が上がるにつれて様々なリスクが相対的に高くなるとともに、出産に至る確率が低くなっていくことが指摘されている。

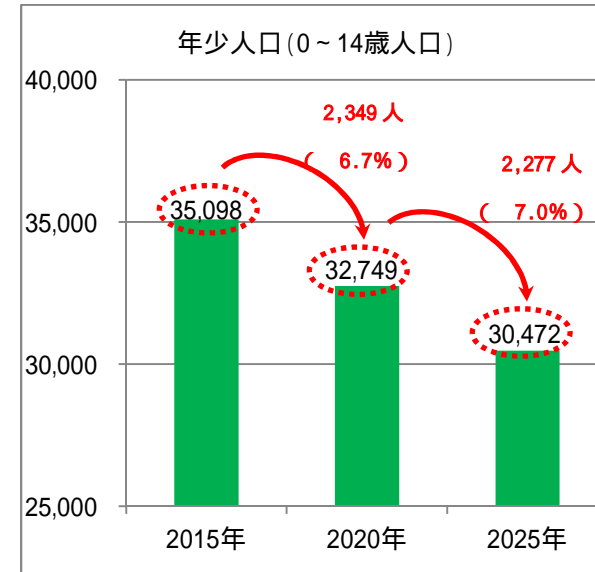
不妊に対する検査・治療経験者の増加（第15回出生動向基本調査(2015年)結果の概要 P25 より一部改変）

不妊を心配したことがある(または現在心配している)夫婦の割合は、35.0%と前回調査(2010年)の31.1%よりも増加した。子どものいない夫婦ではこの割合は55.2%(前回52.2%)にのぼる。実際に不妊の検査や治療を受けたことがある(または現在受けている)夫婦は全体で18.2%(同16.4%)、子どものいない夫婦では28.2%(同28.6%)だった。

2 少子化による子どもの育ちへの影響

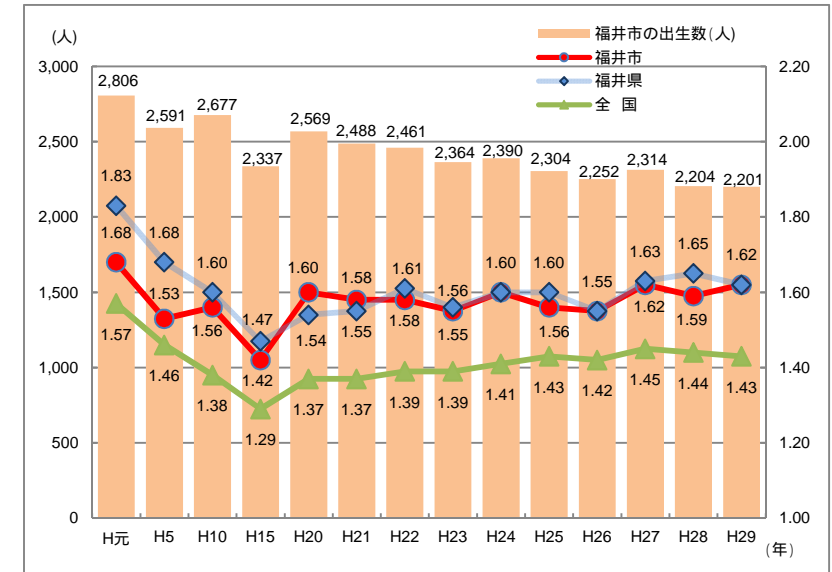
福井市年少人口推計

(資料：福井市将来人口統計データ(コホート変化率法))

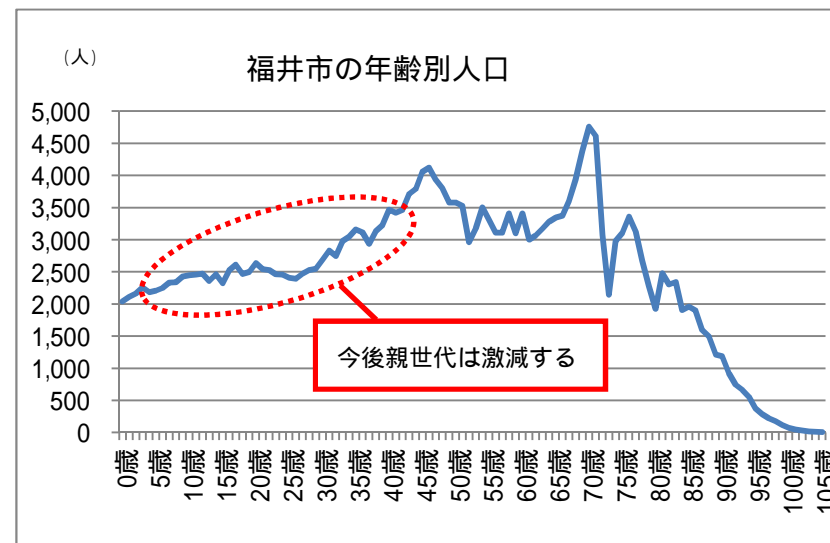


福井市の合計特殊出生率の推移及び出生数の推移

(資料：厚生労働省人口動態統計、福井県衛生統計年報)



福井市の年齢別人口（H31.4福井市人口統計データ）



入所児童数が20人以下の教育・保育施設（子育て支援課・学校教育課）

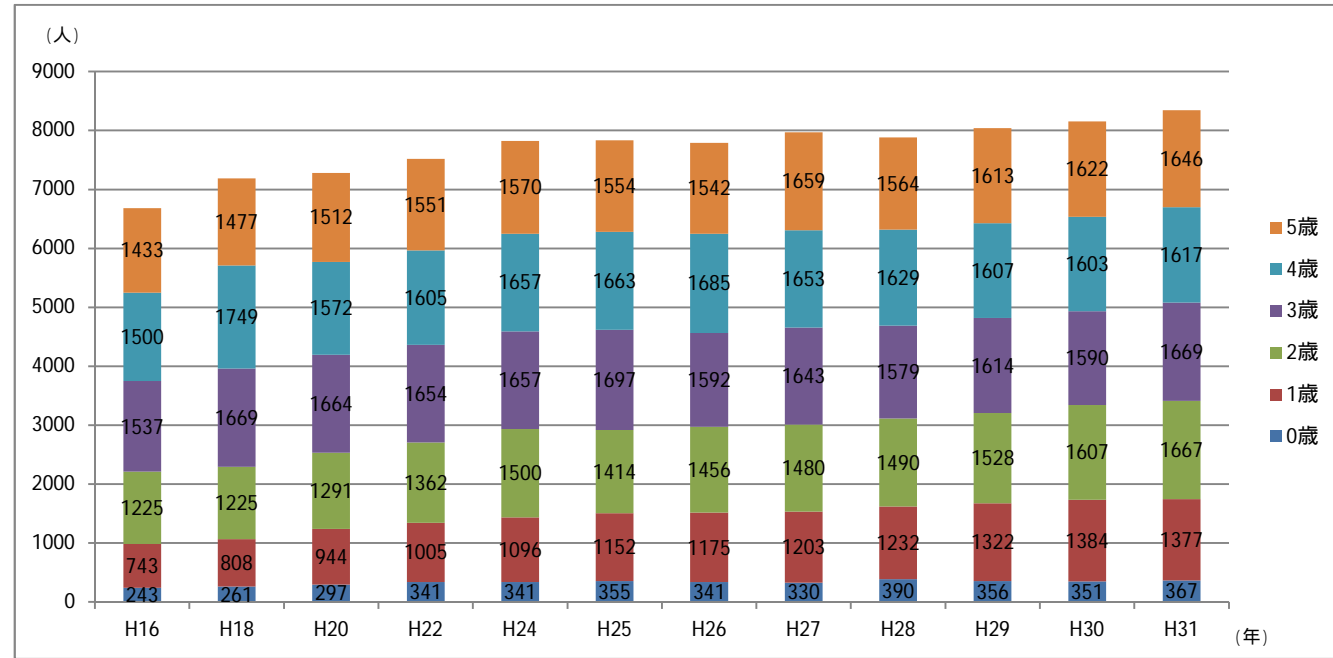
H31.4時点 分園、休園は除く

	市立	私立
幼稚園	大安寺、麻生津、鶺鴒東部、鷹巣、一乗、下宇坂、羽生	つぼみ
保育園	本郷	曙
認定こども園	該当なし	

### 3 保育や放課後の預かりを必要とする子どもの増加

保育園・こども園の入所児童数（保育を必要とする児童）の推移（子育て支援課）

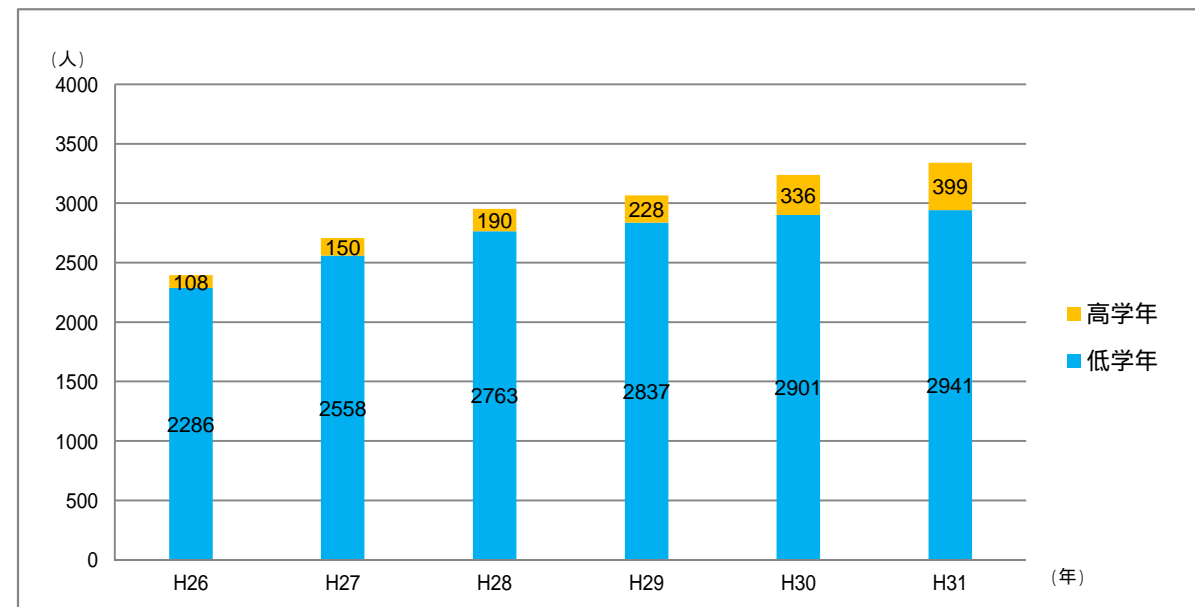
入所児童数（3歳未満） H26年 2,972人 H31年 3,411人（+439人）  
 "（3歳以上） " 4,819人 " 4,932人（+113人）



\*4月1日時点

放課後児童会、児童クラブの登録児童数の推移（学校教育課）

登録児童数（低学年） H26年 2,286人 H31年 2,941人（+655人）  
 "（高学年） " 108人 " 399人（+291人）



\*4月1日時点

### 4 支援が必要な子どもの増加

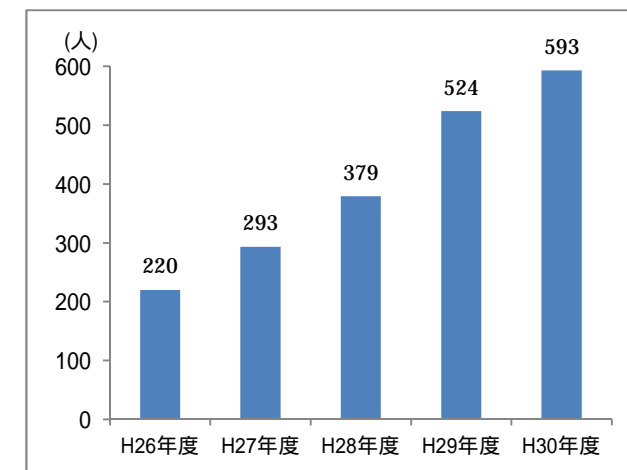
障がい児等の保育園・こども園（保育を必要とする児童）への入所状況（子育て支援課）

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
障がい児保育対象児童数 <sup>1</sup>	44人	62人	60人	69人	53人
ふれあい保育対象児童数 <sup>2</sup>	127人	169人	170人	156人	130人
気になる子の数 <sup>3</sup>	865人	838人	936人	922人	1,204人
合計	1,036人	1,069人	1,166人	1,147人	1,387人
全入所児童数	8,134人	8,865人	8,953人	9,329人	9,624人
入所割合（ / ）	12.7%	12.1%	13.0%	12.3%	14.4%

\*3月末時点

- 障がい児保育対象児童：特別児童扶養手当支給対象児童（身体障害者福祉法による身体障害者手帳1・2級または療育手帳A1の交付を受けている児童）で、福井市入所児発達相談会で該当すると判定を受けた児童。
- ふれあい保育対象児童：障がい児保育の対象とはならないが、中程度の障がいを持つ児童で、福井県子ども療育センター等の公的機関が認めた児童
- 気になる子：広汎性発達障害、注意欠陥・多動性障害などの発達障害や精神遅滞・言語発達遅滞などが疑われる児童。

要保護児童対策地域協議会における進行管理中の児童数（子ども福祉課）



\*3月末時点

要保護児童対策地域協議会

児童相談所、健康福祉センター等の県の機関や保育園、小・中学校、健康管理センターなどの市の機関、警察、医師会、弁護士会なども含めた関係機関と連携して、要保護児童を取り巻く情報の交換を行うとともに、児童とその家族への支援について協議を行っている。